

【解説文】

県では、県有施設を有効活用して、誰もが文化芸術に親しむ機会を創出するため、昨年度は県図書館・美術館で「『県民文化の森』夏のわくわく プロジェクト」を実施したほか、地下道のアート展示などを実施してきました。

このたび、その一環として、県庁20階展望ロビーを県民の皆様による創作活動の発表の場や、事業所・個人が所蔵する絵画等の披露の場として無料で開放する取組を開始し、5月20日（水曜日）から6月7日（日曜日）まで、その第一弾となる作品展示を行います。

今回の展示を開始するにあたっては、昨年度末から展示作品の募集を行い、18の団体・個人等から応募をいただきました。

そして、第一弾となる今回は、主に2つの展示を行います。

まず応募をいただいた中から、岐阜市内の「喫茶カシニョール」の店主、葛西(かさい)孝子(たかこ)氏が所蔵しているフランスの現代画家カシニョールの作品6点を展示します。

そしてもう一つ、県障がい者芸術文化支援センター（TASC(たすく)ぎふ）との連携企画として、県内で創作活動を行っている障がいのある方3名の作品6点も展示し、合わせて12点の作品が並びます。

今後の作品展示については、今回応募のあった18の団体・個人等全てを、今年度中に順次展示する予定です。なお、展示作品は、概ね2～3週間程度で入替を行い、県内文化団体が制作した作品や、県が開催している「ぎふ美術展」の優秀作品なども併せて展示する予定です。

県民の皆様の創作活動の成果や、所蔵する絵画や写真などの作品を広く知っていただけるととても良い機会ですので、ぜひ多くの方に足を運んでいただきたいと思います。